

# 自転車事故・飛び出し事故に注意



先日、学年別に分かれて交通教室が開催されました。本来は、運動場で作られた模擬コースを使った自転車乗方等について学ぶ予定でしたが、雨天の予報が出ていたことから、自転車点検の仕方、動画などを使った交通教室になりました。

子供の交通事故で最も多いのが、飛び出しと自転車事故だそうです。連休中も、交通事故ゼロをお願いします。

**まんだだより**

**GW期間中**

**命を守る行動を**

自分の命は自分で守る

# 学びの保障→タブレット持ち帰り

今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況次第では、自宅待機となるケースだけでなく、臨時休業や学級（学年）閉鎖といったことも想定されます。子供たちの学びを止めないためにも、自主的かつ計画的に生活・学習に取り組むことができるようにしていく必要があります。

そこで、一人一台提供させていただきますタブレット端末の持ち帰りを検討しているところです。

早ければ、連休明けの持ち帰りを考えています。活用方法等については、学年の実態に応じた内容になるとは思いますが、各ご家庭での協力もよろしくお願ひします。ちなみに、このタブレットは夜の21時から翌朝6時までの時間帯は通信制限がかかる設定となっています。

詳細は、学校からの文書をご覧ください。

**荒尾市教育委員会からのお知らせ**

新型コロナウイルスの家庭内感染の防止に努め、強い警戒感を持つてください。

- ・ 不要不急の外出自粛
- ・ 基本的な感染症対策の徹底
- 「マスク着用」「手指の消毒」
- 「3密（密集・密閉・密接）の回避」

家庭内でも、感染の可能性がある人がいる場合は、食事を別にする、トイレ後の消毒、風呂の順番を最後にするといった対応をお願いします。

# マスク着用とキープ・ディスタンス

ご存知のとおり、荒尾市をはじめ、有明保健所管内でコロナ感染者が増加傾向となっております。最近、変異型の流行傾向もあって、予断を許さない状況です。子供たちには登下校時にもマスクを着用するように指導をしているところですが、また、密にならない対策として「キープ・ディスタンス（フィジカル・ディスタンス）」※1について、是非ご家庭で話題にしてください。お願いします。

※1「キープ・ディスタンス（フィジカル・ディスタンス）」  
 これまでは、ソーシャル・ディスタンスという言葉を目にしていましたが、WHO（世界保健機構）でも、この表現をやめて、キープ・ディスタンスやフィジカル・ディスタンスという言い方に変えています。社会的な距離ではなく物理的な距離を取るという意味です。本校も、今後キープ・ディスタンス（フィジカル・ディスタンス）の表現を使用していきます。

**自転車保険加入が義務化**

令和3年10月から、熊本県では子供たちが日頃使用する自転車においても自転車保険への加入が義務付けられます。みなさんの自転車には、左のようなマークがついていないでしょうか？

これまででも自転車事故で高額な賠償請求があった事例もあります。まだの人は早めに近くの取扱店にご相談ください。

令和3年2022年10月から、自転車保険の加入が義務になります。

家庭とともに子供を育む

本年度もPTA総会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面決議という形式を取ることにしました。その際の、資料に左のような「13つ」のお願い「+1」を配付させていただきます。

本年度の学校教育目標「誰もが活躍し、自立できる子供の育成」を実現させるために、子供たちと全職員で取り組んでいくところです。特に、子供たちには、自分身として行動を

① 基本的な生活習慣

変えてほしいと思います。そこで、学校と家庭で共に子供を育むことを共有するために配付したものです。

早寝・早起き・朝ご飯の習慣は、健康面はもちろん学びに向かう意欲に関しても大きな影響があることは様々な科学的データが示しています。携帯ゲームやSNS、動画等のメディア時間をコントロールする力を身に付け、家庭での学習習慣定着をお願いします。

② 傾聴と共感

日本の子供たちは他国と比較しても自尊心や自己肯定感が低いと言われる傾向があります。本校の子供も同様です。本校の子供も同様の傾向があります。子供が話しかけてきたときは、手を休めて子供の目を見て耳を傾けて聞いてあげてください。「聴く」は「耳に目と心で」と書きまします。話を聴いてくれる安心感がある

と、子供たちは周囲の声にも耳を傾ける力がつくようになります。

③ ならぬものはならぬ

「自立できる」ということは、自分でなんでもできるような状態というだけではありません。社会の一員として社会性を身に付け、困ったときに困った言葉で伝えられる力を持つことです。そのためには、時と場合に応じた言葉づかい（敬語など）ができることも必要です。また、家庭や学校のルールを守ることも「ならぬものはならぬ」（だめなもののはだめ）」と教えることが大切です。

「ならぬものはならぬ」は「耳に目と心で」と書きまします。話を聴いてくれる安心感がある

誰もが活躍し、自立できる子供を育むために

保護者の皆様への「3つ」のお願い「+1」

荒尾市立万田小学校

「基本的な生活習慣」「傾聴と共感」「ならぬものはならぬ」の3つのお願いを基本としていますが、何よりも子供たちが自他の命を大切にできるような行動ができるようご協力をお願いします

生活リズムの確立のため、メディアコントロールを中心とした早寝・早起き・朝ご飯と家庭学習の習慣化をお願いします

基本的な生活習慣



命を大切に



傾聴と共感

ならぬものはならぬ



子供の自己肯定感が高まるため、子供の話は、スマホを置いて目と耳を傾けて聞いてあげてください。

自立に必要な社会性を身に付けるため、TPOに応じた言葉づかいやルールの遵守が必要です

プラスワン 命を大切に

教育目標で掲げていることは、未来を生きていく子供たちに身に付けてほしい力をイメージしています。しかし、何よりもまず大切にしてほしいのは「命」です。

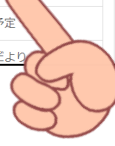
自分自身の命を守ること、もちろん、他者の命も大切にすることが出来る子供に育ててほしいと切に願っています。

登下校のとき、遊びに出かけたとき（徒歩・自転車）、不審者に出会ったとき、災害にあったとき、嫌なことがあったときなどに自分の命を守るための行動や術（すべ）を共に育んでいきましょう。

校長ブログ

開設しています

既に閲覧していただいている方もいらっしゃると思いますが、本校HP内に校長ブログを開設しています。日々の気づきやちよつとした学校生活の様子を200文字程度（時には関連写真も）で記しています。



「お知らせ」のところで日々更新されています。4月28日時点でv.01.13となつていきますので、過去のブログもご覧ください。



この他のメニューも、今更にもっと充実させていきますので、ぜひ活用ください。

本校HPのQRコード